

県立須坂病院だより

かがやき

〈第2号〉

第2号 平成29年1月発行
発行人:須坂病院
[院長 寺田 克]
編集人:須坂病院広報委員会
[委員長 赤松 泰次]
〒382-0091 須坂市大字須坂1332
TEL(026)245-1650
FAX(026)248-3240



新年のご挨拶

長野県立須坂病院 院長 寺田 克

新年明けましておめでとうございます。須高地区の皆様におかれましては、日頃より当院の運営に格別のご支援をいただき誠にありがとうございます。

現在、当院は、県立病院機構の第2期中期計画の目標達成に向けて事業を行っており、運営目標のひとつである「安全で質の高い医療サービスの安定的な提供」を展開するため、昨年8月より新棟建設に着手しました。また、平成14年の南棟(現在の外来、一般病棟、手術室、検査科、放射線科など)開設時に購入した医療機器の経年劣化や故障に対応するため、順次、医療機器の更新や最新機器の購入を行っています。

現在建設中の新棟は本年6月の竣工、7月の稼働を目指しており、以下の部門・部署の設備・機能の充実を図ります。

①内視鏡センター

がん早期発見・治療機能向上のため同センターを拡充し、より迅速で確実な検査・診療体制を提供する。(検査用ベッドを3床から5床に増床、センター専用のX線透視装置増設など)

②外来化学療法室

がん治療充実のため同部門の外来への設置拡充を行い、入院から在宅までのがん治療診療体制を強化する。(8床から10床に増床など)

③健康管理センター

同センターの拡充による健康増進・予防医療の充実を図る。(人間ドック受入れ枠の拡充、専門医による健康評価や事後指導の取り組み強化など)

④地域医療福祉連携室

同部門の拡充により、近隣の病院・診療所や行政及び福祉施設との一層の連携強化を目指す。(地域包括ケアシステム構築に重要な在宅復帰支援機能の強化など)

医療機器の更新では、昨年末に1.5T磁気共鳴断層撮影装置(MRI)の更新を行いました。「狭い、うるさい、検査時間が長い」などの理由で子供さんやご高齢の方に不向きとされる検査装置のひとつですが、今回導入した機種はこれまでのものと比較し、短時間で撮影が可能で、静かで、体動の影響を受けにくい機種です。頭部、胸部、腹部、骨、軟部組織など様々な部位の疾患の診断に役立ちます。また内視鏡センター、健康管理センターの拡充にあわせて、最新の内視鏡装置や関連機器の購入を行う予定です。これらの機器は当院だけでなく、医療機器共同利用にご参加いただいている診療所の先生のご利用を通じて、広く須高地区の皆様へ質の高い医療を提供するのに寄与いたします。

当院は地域の皆様の要望や医療・福祉・保健機関との連携を大切にし、疾病予防・健康増進から急性期・回復期医療まで、さまざまなニーズに沿った安定的な医療の提供に努めてまいります。今年もご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29年7月オープンを目指して新棟を建設中です



事業の概要

- 建設工期
平成28年8月～平成29年6月
- 開設予定
平成29年7月
- 建物規模・面
3階建 約1,300㎡
- フロア構成
1階 外来部門
(地域医療連携室、外来化学療法室など)
2階 内視鏡センター、3階 健康管理センター

私たちは患者中心のチーム医療を実践し、信頼される病院を目指します。

須坂病院からのお知らせ

健康管理センターからのお知らせ

<1泊2日ドックが変わります>

本年4月より1泊2日ドックが、通院型の2日ドックに変更になります。検査内容は変わらず、料金がよりお得になります。どうぞご利用ください。

日帰りドック 41,000円(税込)

2日ドック(通院)
..... 66,000円 → **60,000円(税込)**

※夫婦割引はさらにお得(ご夫婦同日受診)
ご夫婦で **110,000円(税込)**

※国民健康保険加入者は、各自治体により補助制度があります。
(詳細は各自治体にお問い合わせ下さい。)

ご予約受付中 ご予約・お問合せ:健康管理センター TEL.026-246-5544(平日13時～17時)



体の声に耳を傾けていますか?

症状が出る前の早期発見、早期治療が大切です。健康診断を通して、1年に1度は体の定期点検をしましょう。

人間ドック以外の各種健康診断、オプション検査(動脈硬化検査など)も実施しています。

4月、5月はご予約が取りやすく、ぜひこの期間のご利用をお勧めします。

MRI更新

当院では、磁気共鳴断層撮影装置(MRI)を最新鋭の機種(フィリップス社製Ingenia1.5T CX)に更新し、12月5日から稼働を開始しました。

今回の更新作業の間、MRIの撮影ができなかったため、皆様には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫言申し上げます。

新装置は磁場強度が1.5テスラと従来と同じですが、フィリップス社の独自技術であるデジタルコイルを搭載しているため、検査時間の短縮や高精細な画像の提供が可能となりました。

また、撮像時間は若干伸びますが装置特有の“音”を静かにして撮影することもでき、小さなお子様などにも安心して検査を受けていただけます。(場合により、睡眠薬などを用いる場合もあります。詳しくは主治医にお尋ねください)

特徴である検査時間の短縮化や、検査中の体の動きを補正する技術にも優れ、救急患者への対応も迅速に行えます。

画像の特徴として、造影剤を使用しない(非造影)血管撮影の描写がこれまでよりも鮮明に観察する事が可能になりました。特に頭部や頸部、躯幹部大血管、四肢の血管の描出は大きく向上するとともに、脊椎(首・腰)や肩・膝などの各関節の検査もより微細な部分まで画像化する事が可能になるなど、これまで以上に有効な画像診断が行えるようになりました。

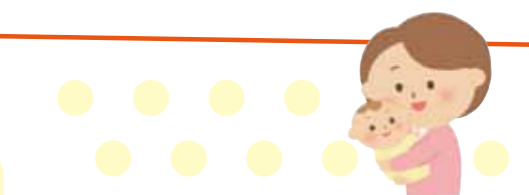
機器の更新により、当院をご利用いただく患者さん、診療所の先生方のお役に立つことができると考えております。これからもよりよい医療を提供するために努力してまいります。



診療体制について(産婦人科)

産婦人科では、以下のとおり診療を制限させていただいております。

- ① 出産に関すること
・当面的間、出産および妊婦健康診査を休止いたします。
- ② 婦人科に関すること
・かかりつけの患者様の婦人科診察は行います。(初診の方は除く)
・子宮頸がん等の婦人科検診は行います。



外来診療につきましては基本的に予約制になりますので、平日午前(9:00～12:00)に、産婦人科外来までお問い合わせ下さい。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ホスピタルコンサート

12/19(月)、女性合唱グループ コーラス・シャンテさんと、ヴァイオリンに宮坂裕子さんと大井俊恵さんを迎えて、クリスマスコンサートを開催しました。君をのせて、さんぼ(スタジオジブリ)やアヴェ・マリア、また会場の皆さんと一緒に、たきび、雪など冬の歌メドレーを合唱しました。その他に、おめでとうクリスマス、グリーンスリープスなど5曲のヴァイオリン演奏がありました。寒いこの季節、患者さんの顔もほころぶ、心温まるコンサートとなりました。



内視鏡センターってこんなところ

内視鏡とは

現在一般に使用されている内視鏡は、細い管の先端にビデオカメラと同じCCDが組み込まれており、手元の操作部で内視鏡の先端を自由自在に動かせるようになっています。また、手元の操作部から内視鏡の先端に通じる細い孔(チャンネル)があり、そこからいろいろな処置具を体内に挿入することができる構造になっています。内視鏡は造影検査と異なり体内を直接視ることができるので、小さな病変や早期癌の発見に非常に役立ちます。さらにチャンネルから挿入した処置具を用いて、開腹せずにさまざまな治療を行うことが可能です。ただし、内視鏡治療の対象となる病変には一定の限界があり、早期発見すること何より大切です。



内視鏡センターで行っている主な検査および治療

内視鏡検査

- 1) 上部消化管(食道・胃・十二指腸)および大腸内視鏡検査
- 2) 小腸カプセル内視鏡および小腸バルーン内視鏡
- 3) 超音波内視鏡検査
- 4) 内視鏡的逆行性膵胆管造影検査
- 5) 気管支鏡検査

内視鏡治療

- 1) ポリープや早期癌に対する内視鏡的切除術
※下記【図2】を参照
- 2) 消化管出血に対する内視鏡的止血術
- 3) 食道・胃静脈瘤に対する硬化療法(または結紮術)
- 4) 消化管異物に対する内視鏡的除去術
- 5) 消化管狭窄に対するバルーン拡張術ないしステント挿入術
- 6) 内視鏡的胃ろう造設術
- 7) 総胆管結石に対する内視鏡的治療
- 8) 閉塞性黄疸に対する内視鏡的ドレナージ術

【図2】内視鏡的粘膜下層剥離術
(早期癌に対する内視鏡治療の最先端の手技)



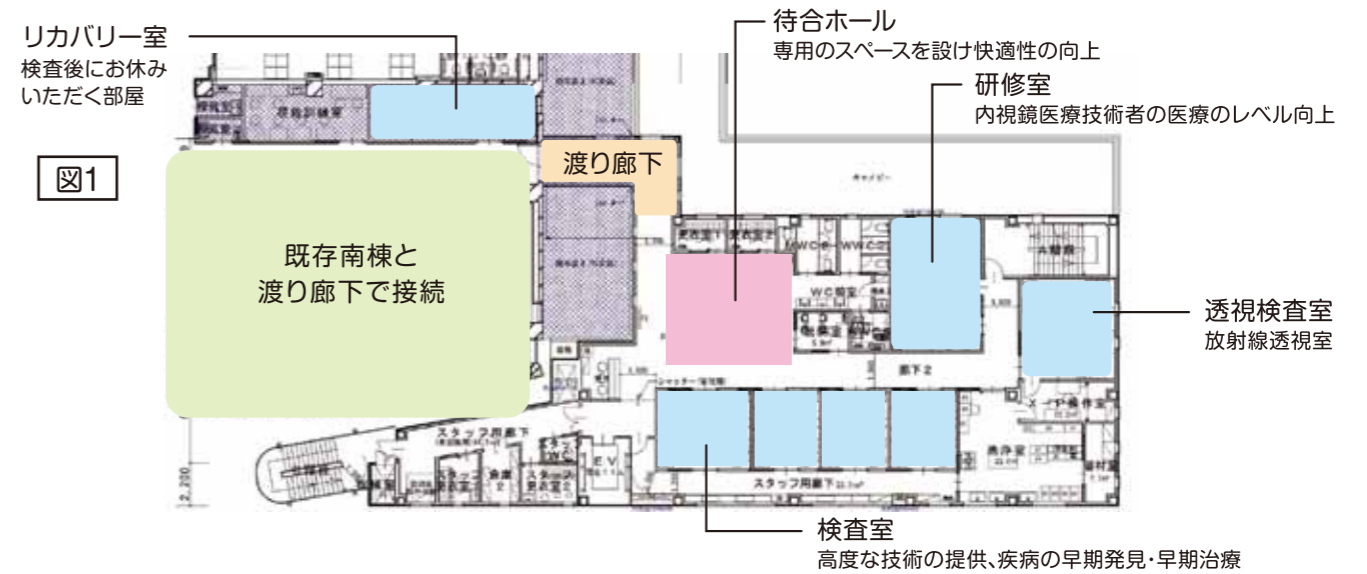
新内視鏡センターの開設について



内視鏡センター長 赤松 泰次

当院の内視鏡センターは現在南棟1階西側にありますが、本年6月に現在病院正面玄関に建設中の新棟2階へ移動する予定です。現在の内視鏡センターは、手狭で十分な待合室もなく、当院で内視鏡診療を受ける患者さんには大変ご不便をおかけしてきました。新しい内視鏡センターは、図1のように内視鏡室が4室と内視鏡用X線透視室の他、待合室、研修室、説明室、洗浄・消毒室、ロッカー室、トイレなどを完備しています。また、最新の内視鏡機器やX線透視装置を導入する予定で、快適な環境で内視鏡検査や内視鏡治療を受けることができるようになります。さらに、当院ではこれまで内視鏡検査時の苦痛を緩和するため、ご希望に応じて鎮静薬を使用した安楽な内視鏡診療(眠った状態で内視鏡を行う)を推進してきましたが、検査終了後にお休み頂く部屋として、内視鏡センターの入口のすぐそばにリカバリールームを新たに設置しました。

本年度から胃集団検診の方法が、従来のバリウム検査だけでなく、直接内視鏡で行うことも可能となりました。そのため、内視鏡検査のニーズは今後ますます高まることが予想されます。今回新しい内視鏡センターの設備の充実によって、当院で施行可能な内視鏡件数は現在の1.5倍程度に増加する見込みであり、内視鏡検査の増加に十分対応できると考えています。



内視鏡検査のおすすめ



消化器内科部長 下平 和久

胃腸の病気の診断には、内視鏡検査が不可欠です。しかし、「胃や大腸の内視鏡検査は辛くて受けたくない」と思っている方が多いのではないのでしょうか。内視鏡検査は確かにある程度の苦痛を伴う検査ですが、当院ではご希望があれば胃・大腸ともに鎮静剤を使った苦痛の少ない内視鏡検査を実施しています。

ただし、鎮静剤を使用した場合、安全のため検査後から翌朝まで車・バイク・自転車の運転を控えていただきます。なお、人間ドックでは、検査後に車両の運転が可能な鎮静剤(別料金)を使用することができますので、ご希望の方はご相談ください。



須坂病院医師紹介



久保 直樹 先生

- 経歴
平成27年4月須坂病院 入職
- 専門
消化器外科

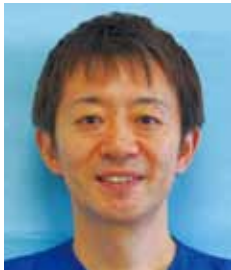
- 専門を選んだ理由
大学の部活(ラグビー部)の先輩が、外科にすすんだ人が多かったため。
- 須高地区の印象
自然環境が豊かでアットホームな印象。
- 地域の方へ一言
地域医療に貢献できるようにがんばります。



小泉 正幸 先生

- 経歴
平成27年4月須坂病院 入職
- 専門
血液内科 緩和医療

- 専門を選んだ理由
血液内科は、技術進歩がとても速く優れた薬が次々登場します。かつては不治の病と言われた病気から回復する患者様やご家族様の喜ぶお姿を見られるのは血液内科医の醍醐味です。もちろんまだ治りにくい病気も多々ありますが、そういった方達にもじっくりと寄り添わせていただけるのも血液内科医としてのやりがいであり感謝です。
- 須高地区の印象
もともと縁はありませんが須坂・高山の美しさに惹かれて移り住んで参りました。当然とても気に入っています。人々の気質もやさしいし、移住者を快く受け入れてくださって感謝しています。
- 地域の方へ一言
須坂病院のドクターとしてはもちろんですが、須坂を愛する一市民としてこれからもよろしくお祈りします。



鶴田 悟郎 先生

- 経歴
平成27年4月須坂病院 入職
- 専門
小児科一般、小児内分泌学

- 専門を選んだ理由
お子さんの成長を親御さんと一緒に見守って参ります。さらに小児内分泌医の視点から疾病の治療について適切なアドバイスをさせていただきます。
- 須高地区の印象
隣接する中野市の北信総合病院よりの異動で昨年春に赴任いたしました。地域のみなさんに温かく迎えていただき妻と娘の3人で須坂市内で新たな生活をスタートさせることができました。
- 地域の方へ一言
小児科医として今まで学んできた臨床経験と、パパ歴4年のまだ未熟な視点ですが、須高地域のお子さんたちの健康と、その親御さんたちのご心配を少しでも軽くできるようお手伝いできればと思います。小児科一般としておかげなどの感染症はもちろん、気管支喘息やアトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎などのアレルギー疾患・食物アレルギーへの対応、内分泌疾患に関わる発育についてのご心配(低身長、肥満、メタボリックシンドローム、夜尿症、思春期早発・遅発、学校検尿での尿糖陽性や糖尿病)について予約の外来を設けております。些細なご心配事でも大丈夫ですので、受診いただきお尋ねください。



濱 峰幸 先生

- 経歴
平成28年4月須坂病院 入職
- 専門
呼吸器・感染症内科

- 専門を選んだ理由
呼吸器・感染症内科は、呼吸器疾患、感染症だけでなく、アレルギー、膠原病、悪性疾患など幅広い分野に及んでいる科で、やりがいがあると考え選びました。
- 須高地区の印象
出身が諏訪なのですが、冬は諏訪よりも暖かいです。また、諏訪と同じで周りに温泉が多く、よく利用しています。長野市へのアクセスもよく、住みやすいと感じています。
- 地域の方へ一言
地域の方に安心でき笑顔になっていただけるような診療を目指して頑張っております。よろしくお祈りします。

